



5年生集団宿泊教室

11月4日と5日、南関町内の小学校5年生が一堂に会し、1泊2日の集団宿泊教室が行われました。友達と協力して生活する中で、思いやりやルールを守る大切さ、仲間と過ごす楽しさを実感し、協力する力が育まれました。ペーロン船体験では、みんなでリズムを合わせて声をかけ、力いっぱいオールをこぐ中で、目的に向かって協力することの大切さや、仲間と心をひとつにする喜びを感じることができました。

また、水俣市では語り部の緒方正実さんから、水俣病の歴史やご自身の体験を通して、命の尊さや環境を守ることの大切さを学びました。中でも、「差別や水俣病と向き合い、幸せを見つけ、何事も前向きに変えていくことが大切」という言葉は、子供たちの心に深く残ったようです。その言葉を胸に、自分の思いや考えを仲間と語り合う姿から、差別をなくし前進しようと考える力が育っていることが感じられました。



新聞投稿の取組

南関三小では新聞投稿を積極的に行ってています。南関第三小の6年生が町

制70周年式典で「10年後の南関町」をテーマに発表。外国の方との交流イベントを提案し、町への愛着を深めてもらいたいという願いを込めました。緊張しながらも協力して準備した成果を発揮し、中学生の堂々とした発表に刺激を受けるとともに今後の平和集会や卒業式で、さらに成長した姿を見せたいという思いが高まつたことについて、6年生の井口舞桜さん「『10年後の町』テーマに発表」【R7.11.5日付け熊日】が掲載されました。また、南関町をもっと住みやすくするために「路面電車を走らすこと」を提案。移動のしやすさと環境への配慮の両面から、路面電車の導入が町にとって良いと主張した6年生の森川愛那斗さん「町に路面電車 走らせたい!」【R7.11.23日付け熊日】が掲載されました。

南関三小では、国語科の授業や週末作文の取組を充実させ、子供たちの表現力を高めていきます。

1年生の体育の授業で

11月28日(金)、1年生の体育の授業では、グラウンドを元気いっぱいに走る子供たちの姿が見られました。冷たい風が吹く中でも、「よーい、ドン!」の合図で、子供たちは一生懸命に走り出しました。

これから始まる持久走の季節に向けて、自分のペースで最後まで走りきることを目標に、やり抜く力を育んでいきます。「どうすれば長く走れるか」「どんなペースで走ろうか」など、自分の体と向き合いながら考える姿も育てていきます。持久走大会は1月21日(水)の予定です。冬休みの間にお子さんと練習してみてはいかがでしょうか。

